

令和2年度の事業報告書

令和2年9月9日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人さとはち

1 事業の成果

さとはちでは、「里地里山の環境保全」と「持続可能な農業生産の実現」を目的に、耕作放棄地再生農地を活用した環境保全型農業及び養蜂、農作物・養蜂生産物を活用した商品開発や販売、自然環境教育等の事業に取り組んできた。

① 環境保全型農業及び養蜂事業

里山の景観悪化・獣害の原因となる耕作放棄地の解消に向け、耕作放棄地再生農地を活用したエゴマの栽培及び養蜂を実施した。

5月から10月の間には、エゴマの播種から収穫までを体験できる栽培イベント、ミツバチの生態について学習するイベントを開催。地域住民や県外にお住まいの方、約10～20名が参加した。環境保全型農業及び養蜂事業はさとはちの基盤となる事業のため、令和3年度以降も引き続き実施していく予定である。

② 里地里山保全事業

外部団体が開催する蜜源増殖活動への参加、蜜源となる緑肥作物の種子配布、耕作放棄地再生農地周辺を対象とした植物相調査を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。今後の活動で取り組んでいきたいと考えている。

③ 農業及び養蜂業活性化事業

地元農産物・養蜂生産物の消費拡大に向け、県内農業高校生と連携し商品開発を行った。活動で収穫したエゴマと蜂蜜を活用し「エゴマの実」「生えごま油」「恵蜜（めぐみつ）」という商品を開発。地元のマルシェやイベント、道の駅・物産館（委託）、通販サイトで販売した。

さらに、地元の給食センターとも連携し、学校給食を通してエゴマ食や地産地消の推進を図ることができた。今後も引き続き地元農産物・養蜂生産物の消費拡大に向けた活動に取り組む予定である。

④ 自然環境教育事業

連携先の県内農業高校生にミツバチの生態や管理方法を指導。農業高校の実習農地にミツバチの巣箱を設置し、生徒とともに養蜂を行った。養蜂を通し、ミツバチの生態や農業・環境との関わりについて生徒が学習する機会を提供できた。

⑤ 情報提供事業

Facebook、Instagram、Twitterを開設し、イベント情報や活動の様子を発信した。SNSを使った情報発信は今後も定期的に行っていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
①環境保全型農業及び養蜂事業	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地再生農地にて養蜂を実施。 ・耕作放棄地再生農地にて、蜜源、花粉源となる「エゴマ」を無農薬、無化学肥料で栽培した。 ・エゴマ栽培イベント及びミツバチの生態学習イベントを開催。地域や県外からの参加者に環境保全型農業やミツバチの生態に対する正しい理解を呼びかけた。 	<p>(A) 養蜂は4月、エゴマの栽培は5月から実施。栽培イベントは5月30日、6月27日、8月1日、10月25日に開催。生態学習は7月11日に開催。</p> <p>(B) 恵那市内農地</p> <p>(C) 15名</p>	<p>(D) 農家、地域住民</p> <p>(E) 不特定多数</p>	145
②里地里山保全事業	実施なし	—	—	0
③農業及び養蜂業活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫物であるエゴマと蜂蜜を活用した商品開発。 ・地元のマルシェやイベントでの販売。 ・通販サイトを使用したネット販売。 ・給食センターと連携し、エゴマを学校給食に使用していただいた。 ・道の駅、物産館での委託販売。 	<p>(A) 商品開発は9月下旬から開始。マルシェ・イベントでの販売は10月8日、11月3日、11月30日、1月16日、3月20日に実施。ネット販売は10月から開始。給食センターとは10月～11月に連携。委託販売は3月に実施。</p> <p>(B) 法人の作業所、地域及び県外の施設。</p> <p>(C) 5名</p>	<p>(D) 地域及び県外の不特定多数</p> <p>(E) 地域及び県外の不特定多数</p>	282

④ 自然環境教育事業	・県内農業高校の生徒に向けた、ミツバチの生態や管理方法についての指導。	(A)11月26日 (B)県内農業高校 (C)1人	(D)県内農業高校生 (E)40人	12
⑤ 情報提供事業	・SNS (Facebook・Instagram・Twitter) アカウントの開設。Facebookでは活動の様子を定期的に発信した。	(A)Facebookは5月に開設。Instagram、Twitterは3月に開設。 (B)法人事務所 (C)1人	(D)地域及び県外の不特定多数 (E)不特定多数	0
⑥ その多目的を達成するために必要な事業	実施なし	—	—	—

法人名：特定非営利活動法人さとはち

活動計算書

2020年9月9日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	87,000		
賛助会員受取会費	9,000		
法人会員受取会費	30,000	126,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金		1,200,000	
3. 事業収益			
①環境保全事業収益	52,294		
③活性化事業収益	271,454	323,748	
経常収益計			1,649,748
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
業務委託費	34,167		
旅費交通費	1,500		
通信運搬費	4,860		
消耗品費	380,430		
減価償却費	18,035		
租税公課	400		
支払手数料	200		
その他経費計	439,592		
事業費計		439,592	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
減価償却費	142,933		
交際費	2,160		
旅費交通費	5,130		
通信運搬費	30,712		
消耗品費	81,726		
水道光熱費	21,645		
保険料	37,000		
諸会費	1,000		
租税公課	4,500		
支払手数料	660		
燃料費	4,296		

科目	金額		
その他経費計	331,762		
管理費計		331,762	
経常費用計			771,354
当期経常増減額			878,394
Ⅲ 経常外収益			
固定資産受贈益		142,935	
経常外収益計			142,935
税引前当期正味財産増減額			1,021,329
当期正味財産増減額			1,021,329
次期繰越正味財産額			1,021,329

法人名：特定非営利活動法人さとはち

貸借対照表

2021年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,119,415		
未収金	30,408		
流動資産合計		2,149,823	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	682,474		
減価償却累計額	-160,968		
有形固定資産計	521,506		
固定資産合計		521,506	
資産合計			2,671,329
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	1,650,000		
固定負債合計		1,650,000	
負債合計			1,650,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		1,021,329	
正味財産合計			1,021,329
負債及び正味財産合計			2,671,329

法人名：特定非営利活動法人さとはち

財産目録

2021年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ（法人）（API）	2,039,787	
イベントお釣現金	40,000	
小口現金	39,628	
未収金		
	30,408	
流動資産合計		2,149,823√
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
工具器具備品		
除菌水生成装置	300,080	
紫外線照射器	239,459	
パソコン	88,606	
プリンター	54,329	
減価償却累計額		
除菌水生成装置	-10,031	
紫外線用照射器	-8,004	
パソコン	-88,605	
プリンター	-54,328	
有形固定資産計	521,506	
固定資産合計		521,506
資産合計		2,671,329
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金		
長期借入金	1,650,000	
固定負債合計		1,650,000
負債合計		1,650,000
正味財産		1,021,329